

平成29年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王北小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語、算数ともに「知識」をみるA問題の方が、「活用」の力をみるB問題よりも平均正答率が高いです。
- ・国語に関して、全国と比較すると同程度の平均正答率でしたが、A問題では若干上回り、B問題では若干下回っています。A問題では、「同音異義語の書き」や「手紙の後付けの位置」、B問題では、「質問の意図を捉え整理して書く」「叙述をもとに理由を明確にして自分の考えをまとめる」等、「書くこと」への平均正答率が低く課題がみられます。加えて、記述式の問題に苦手傾向が見られます。
- ・算数に関して、A問題・B問題とも全国を下回る平均正答率でした。A問題については、四則計算や商を分数で表すことに関わった「数と計算」領域、面積に関わった「量と測定」領域に課題が見られました。また、B問題については、「数量関係」領域において、様々な情報を与えられる中、数学的な思考を働かせて必要なものを取捨選択して解答を導き出すことに難しさを感じられる結果でした。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・良い傾向が認められる項目
「食事や睡眠等の基本的な生活習慣」「将来の夢や目標をもっている」「読書の機会」「課題に対して調べる、整理する、発表する活動」「学習の大切さの理解」「外国への関心」に関する質問において、良好な回答結果を示しています。
- ・課題となる項目
「自己肯定感」「発表することへの苦手意識」「TV、ビデオ、DVDの視聴や画面を使ったゲームの使用時間」「家庭での学習時間・計画づくり・内容」に関する質問において、課題を感じられる回答結果を示しています。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・各教科における言語活動の充実（校内研究と連携を図ります。）を意識した授業作りに取り組み、子どもたちの思考力、判断力、表現力の育成を図ります。
- ・児童の基礎的、基本的な学力の定着を図るために、TT（チームティーチング）の有効活用をしたり、必要に応じて支援体制を組んだりしてきめ細かな指導に取り組めます。
- ・「朝の10分間おはようタイム」などを活用し、漢字練習や計算練習等を継続的に繰り返し指導します。
- ・各学年で、学習規律の確立を図るとともに、学年に応じた効果的なノート指導を充実させます。
- ・児童が自主学習にも力を入れられるよう、家庭学習の取り組みの工夫を図り、家庭学習の時間が確保できるように努めます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・「家庭学習の手引き」を活用して、子ども達が、進んで学ぶ習慣が確立できるように声をかけてください。
- ・学校・学年・学級日より・ホームページ等をご覧になって、学校の出来事や勉強したことなどについて親子で会話したり、一緒に過ごしたりする時間をとってあげてください。
- ・就寝時刻、起床時刻、食事の時刻などの生活リズムを整え、ゲームやテレビ・スマホなどを使う時間のルールを親子で話し合って決めて守らせてください。
- ・図書だよりなどを参考にして親子でいろいろな本を読んだり、お子さんの音読を聞いたりして、本の内容や感想を話し合い、読書を通して心の栄養を付けられるように励ましてあげてください。